



通勤・通学・通院の足「鉄道」はどくなる？

市内を走る鉄道のうち、JR室蘭線（沼ノ端―岩見沢間）、日高線（苫小牧―鷗川間）については、今後、鉄道事業者のみで維持していくことが難しいという考え方が示されました。これらの路線を維持するため、JR北海道、北海道と沿線自治体が連携し、利用促進に向けた取り組みを進めています。引き続き、新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、利用促進を図るとともに、地域による支援の検討や協議を行うなど、鉄道の活性化に向けた取り組みが求められています。



利用者の減少が進む「バス」の現状

市内路線バスの利用者は減少傾向にあり、赤字路線が増えることで、現在の路線網や運行本数の確保が難しくなっています。また、運行本数の減少によりバスの利便性が低下することです。また、悪循環に陥る恐れがあります。利用者が減少するなか、悪循環に陥る恐れがあります。利便性や快適性の向上策、利用しやすい路線網への再編など、利用者目線で使いやすいバスを目指す取り組みが求められています。



ユニバーサルデザインタクシーの導入

市では障がい者や高齢者、子育て中の保護者、訪日外国人観光客など、誰もが安心して快適に利用できる交通環境を整備するため、ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業を行っています。現在市内では、ユニバーサルデザインタクシーが61台導入されており、利用者の皆さまからも好評をいただいています。今後も、誰もが安心して利用できる交通環境の整備を目指し、事業者のユニバーサルデザインタクシーの導入を支援していきます。



持続可能な公共交通に向けて

利用者の減少や少子高齢化、事業者の乗務員不足、重複路線を抱える非効率な運行、JRの維持困難線区など、公共交通を取り巻くさまざまな課題に対応していく必要があります。

市ではこうした課題に対応するため、鉄道やバスの乗り継ぎ、バス待合環境の改善、バス路線網の再構築、ICT※を活用した利便性向上策、ユニバーサルデザインタクシー車両の導入など、効率的で利便性が高く、誰もが利用しやすい公共交通網の形成を目指していきます。 ※ICT：IC乗車券システムなどを含む情報通信技術のこと

新型コロナウイルスの影響により、減便などを行っています！

新型コロナウイルスの影響により、一部のバスや列車は減便・減車を行っています。

詳細は、各社ホームページからご確認ください。



▲道南バス(株)



▲JR北海道



5月11日(月)／緑ヶ丘公園

桜が満開！！

新型コロナウイルスの影響で、今年の緑ヶ丘公園まつりは中止となってしまいましたが、桜並木の景色は春の訪れを告げていました。来年は、多くの方が花見を楽しみ、桜の木の下にはたくさんの笑顔が広がっていることを願うばかりです。

表紙から

26 みんなのひろば

感染症 感染リスクを下げるために／苫小牧市空家等解体補助制度の募集を開始します／免疫力UPで予防しよう！／編集後記 ほか

25 市政トピックス

児童センターに遊びに来ませんか

15 市からのお知らせ

福祉／暮らし／催し・講座／スポーツ／相談／募集／0533 大作戦／ステージ5